

# 愛知淑徳の授業

生徒・学生の意欲に応え、一人ひとりの可能性を広げる愛知淑徳学園のさまざまな授業を紹介いたします。

大学

失語症Ⅲ

鈴木朋子教授

健康医療科学部 医療貢献学科 言語聴覚学専攻

患者さまの「自分らしい生き方」を見つめる、医療人の心も磨いてほしい。

「聞く・話す・読む・書く」ことが困難になる、失語症。その患者さま一人ひとりの症状を的確に判断し、相手が求めるサポートができるよう、2年次後期「失語症Ⅲ」の講義では、訓練方法や計画立案、社会生活・社会参加に対する支援を学びます。絵カードを使った検査・訓練のデモンストレーションや症例検討などを行い、学生は失語症への理解を体験的に深めます。「言語聴覚学専攻の科目はすべて、人を支える」ための専門性や人間性を養うことを目標にしています。障がいをごえて、その人が自分らしく生きていくにはどんな支援が必要か。学生が主体的に考える授業づくりを努めています」と語った鈴木先生。「失語症友の会」のボランティア活動など、患者さまと交流できる機会を数多く用意し、医療人をめざす学生の一步を後押ししています。

